

数値目標

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H24.2.1	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1
①	小売業年間販売額	億円	目標	—	258	268	278	288	297
			実績	248	—	337	—	—	既に達成

成果・課題	今後の方針・改善策
【H27】経済センサスデータ無し 【H28】H24.2から20%の増加を目標としており、H28年は35.9%増加。目標達成。 【H29】【H30】経済センサスの公表はH28年分までのためデータ無し。	販売額の目標は、現時点では達成済。しかし、総合計画で目標としている従業者数は6.9%増となっており増加率は低い。従業者数の更なる増加と合わせ、今後も販売額の増加を目指していく。

KPI

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 ~R1累計
1-1	バイヤーと生産者のマッチング件数 ※再掲(資料1)	件	目標	—	—	4年間(H28~R1)で13件			13
			実績	H28から実施		4	3(7)	3(10)	達成が見込める

成果・課題	今後の方針・改善策
【H28】H29年2月に1泊2日のマッチングツアーを開催。 【H29】H30年1月に1泊2日のマッチングツアーを開催。昨年度とは異なるシェフ・バイヤーと生産者によるツアーで、新規のマッチングが行えた。 【H30】これまでの繋がりを生かし、新たなバイヤーやWebでの掲載、販路の拡大を行った。	マッチングツアーは費用対効果の面からH29年度で終了した。これまでの取引先や新たに営業に行くことで、マッチングを行っている。また、国内外の商談会や展示会等に出展し、ウトブランドの販路拡大を図る。

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1時点
1-2	機能性野菜の生産件数 ※再掲(資料1)	件	目標	—	—	10	15	20	25
			実績	—	6	2	5	6	達成が見込めない

成果・課題	今後の方針・改善策
【H28】熊本地震の影響により、生産件数が減少した。 【H29】「うとげんき野菜」として宇土マリーナ生産者出荷協議会の生産者に種苗を配布し、宇土マリーナにて販売。 【H30】ウトブランドのシールを貼り、宇土マリーナで販売。	出荷協議会における生産者に対し、さらなる生産依頼と栽培指導を実施し、生産量の拡大を図る。さらに、宇土マリーナにおけるさらなるPRを実施し、販売促進を図る。

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1
1-2b	ウトブランドのPR件数 ※再掲(資料1)	件	目標	—	—	39,000	46,000	120,000	130,000
			実績	—	—	335,400	110,800	218,315	既に達成

成果・課題	今後の方針・改善策
【H28】熊本日日新聞、全国農業新聞(熊本版)に掲載 【H29】広報うとへの掲載、「宇土市の旬を届ける実行委員会」によるFacebookを開設。また、食の展示会等により実物を見て食べてもらった。 【H30】Facebookの閲覧数や熊日、料理王国、コロンブス等に掲載。	今後も協議会の活動内容やあさりのオリーブオイル漬け等の加工品を含めたウトブランドを多くのマスコミやメディア、デジタルコンテンツに掲載してもらえよう今後も継続して情報発信と続けたい。

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1
1-3	ブランド化に取り組んだ水産加工製品の売上額	千円	目標	—	1,632	1,652	1,672	1,692	1,710
			実績	1,554	2,190	1,677	1,510	1,093	達成が見込めない

成果・課題				今後の方針・改善策					
【H27】加工・直接販売ができる水産加工施設を設置。 【H28】熊本地震の影響で11月まで施設の営業ができなかった。 【H29】水産物の減少により、売上額が減少した。 【H30】軽トラ市等イベントの開催の減少により、売上額が減少した。				人手不足等より取組が困難な部分があるが、取扱う水産物等の増加や積極的なイベント開催により、売上額増加に努めたい。					

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1時点
1-4	中心市街地における空き店舗数	店	目標	—	R1時点で20件				20
			実績	3	4	14	24	24	達成が見込めない

成果・課題				今後の方針・改善策					
【H27】昨年度から1件増加。 【H28】熊本地震の影響で空き店舗が増加。 【H29】熊本地震の影響で空き店舗が増加。H28は解体自体が完了していない。 【H30】解体はほぼ完了。空き店舗数は増減なし。				H30年度末に、熊本地震後の地域産業の振興及び雇用の創出を目的とし、創業・開業支援事業に対する補助制度を開始した。現在、空き店舗を活用した創業の申請があつているため、制度の周知に努めたい。あわせて、中心市街地の解体後の空地进行を駐車場化した場合の補助も開始した。					

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1
1-5	新規就農者数	人	目標	—	17	18	18	19	20
			実績	17	19	21	19	11	達成が見込めない

成果・課題				今後の方針・改善策					
【H27】2人の新規就農があつた。 【H28】2人の新規就農があつた。 【H29】3人の新規就農があり、5人の終了者があつた。 【H30】1人の新規就農があり、9人の終了者があつた。				交付金や補助金だけでなく、H29年度に宇城地域振興局、JA、金融機関と連携した就農サポートチームを立ち上げ、新規就農後の支援を行っている。					

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1
1-6	新規就漁者数	人	目標	—	2	2	2	2	3
			実績	2	2	2	4	0	達成が見込めない

成果・課題				今後の方針・改善策					
H30年度の審議会を受け、(指標1-5)新規就農者数と同様に後継者を含めた数値に変更。各年度、純粋な新規就漁者はおらず後継者のみの数値となっている。				特産物である海苔は製品化するまでに多大な労力と機械に対するコストを要するため、共同で利用できる海苔共同乾燥施設の設置を計画。1人あたりの労力・コスト削減が期待できるため、新規就漁者の増加を実現したい。また、アサリ漁についても、今後も漁協の取組みを支援していきたい。					

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1
1-7	新規創業件数	件	目標	—	10	10	10	10	10
			実績	6	9	5	3	7	達成が見込める

成果・課題				今後の方針・改善策					
【H27】 昨年度と比較すると増加した。 【H28】 熊本地震の影響もあり減少した。 【H29】 新規創業が少ないだけでなく、事業を辞めていく場合も多い。 【H30】 熊本地震からの落ち着きが見られ、件数が増加した。				創業・開業支援事業（1-4）の制度周知を行い、今後も商工会等と連携し、創業支援を行っていききたい。					

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 ~R1累計
1-8	雇用促進奨励金給付者数	人	目標	—	5年間（H27～R1）で25人				25
			実績	0	6	0(6)	0(6)	6(12)	達成が見込めない

成果・課題				今後の方針・改善策					
【H27】 1社（6人雇用）に対する給付を行った。 【H28】 実績なし。 【H29】 実績なし。 【H30】 1社（6人雇用）に対する給付を行った。				宇土市在住者を新規雇用した場合、上限1,000万円の範囲内で1人30万円給付している。 地元での雇用創出に繋がる制度であるため、今後も制度の周知を行っていききたい。					

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1時点
1-9	農業法人数	経営体	目標	—	R1時点で12経営体				12
			実績	7	7	12	13	14	既に達成

成果・課題				今後の方針・改善策					
【H27】 新規の企業参入や、県補助金を活用した農事組合法人の立上げがあったため農業法人数が増加した。 【H28】 農業参入の法人が1件あった。 【H29】 農事組合法人の新規立上げが1件あった。 【H30】 農業法人の把握が1件あった。				これまで同様、立上げを検討している団体に県補助金等の支援制度の案内や、個々の農家に通知し法人化を後押ししていく。					

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1
1-10	海面養殖業生産額	百万円	目標	—	1,550	1,630	1,700	1,800	1,930
			実績	1,474	1,426	1,959	2,795	1,609	分からない

成果・課題				今後の方針・改善策					
【H27】 全国的に海苔の生産が悪かったため、例年に比べ単価が上昇し、売上は良かった。 【H28】 全国的な不作であったが、熊本県において生産枚数が増加し、昨年度を更に上回る海苔単価であったため、目標額を大きく上回る結果となった。 【H29】 H28に続き豊漁であった。 【H30】 県内全域的に高い海水温が影響し不作だった。				気温・降雨・風波など気象・海況に左右される産業であり、人為的にコントロールできないものではあるが、採苗開始日、秋芽網撤去、冷凍網出庫等の時期は決めることができるため、その年の気象・海況条件に合わせて生産額の増加を目指したい。					

数値目標

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H22～H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 ～R1累計
②	社会増の維持(5年間で200人の社会増) ※再掲(資料1)	人	目標	—	40	40	40	40	200
			実績	▲72	16	▲324	▲68	28	達成が見込めない

成果・課題	今後の方針・改善策
<p>【H27】社会増を維持した。(社会増は県内6団体のみ) 【H28】熊本地震の影響で転出超過が大幅に増加。 【H29】転出超過しているものの社会増の減少数は少ない。 【H30】熊本地震からの落ち着きがみられ、転入超過となった。</p>	<p>目標達成は難しい状況にあるが、社会増が維持できるよう、魅力ある宇土市をPRした移住・定住施策が必要となる。</p>

KPI

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1
2-1	転入者数(1月～12月) ※再掲(資料1)	人	目標	—	1,522	1,554	1,586	1,618	1,650
			実績	1,490	1,598	1,513	1,579	1,675	既に達成

成果・課題	今後の方針・改善策
<p>【H27】目標を超える転入があった。 【H28】熊本地震の影響もあり、目標が達成できなかった。 【H29】昨年度よりも増加。 【H30】昨年度よりも増加し、期間内で一番多い転入者数となった。</p>	<p>熊本県への移住については、短期的には減少すると見込まれている。宇土市の魅力に加えて、復旧・復興の状況等安心・安全に係る整備についても丁寧にアピールして行くことが必要である。</p>

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 ～R1累計
2-2	空き家バンク活用件数	件	目標	—	5年間(H27～R1)で6件				6
			実績	H27開始	1	1	0	0	達成が見込めない

成果・課題	今後の方針・改善策
<p>【H27】 【H28】主な原因としては空き家の登録件数が少ないため。 【H29】空き家の登録が少なく、市外への周知不足が原因と考えられる。【H30】空き家の登録自体が0件であるため、まずは登録に向けた取組が必要。</p>	<p>R1.4に固定資産税の納税通知に空き家・空き地バンクの案内を同封したところ、問い合わせが増えており19件相談があった。しかし、空き地バンクの相談が多く、空き家バンクについては近いうちに1件登録ができる見込み。 今後も、制度の周知や地域おこし協力隊により、登録件数の増加を行っていく。</p>

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1
2-3	観光客数(観光統計調査における観光入込客数)	千人	目標	—	1,334	1,361	1,388	1,416	1,416
			実績	1,238	1,270	1,195	1,239	1,240	達成が見込めない

成果・課題	今後の方針・改善策
<p>【H27】三角西港の世界遺産認定も影響し観光客数は増加。 【H28】熊本地震の影響により観光客数が減少。 【H29】前年より3.9%増加しており、年間2%程度の増加という見込みは超えた 【H30】昨年度とほぼ同数となった。</p>	<p>JRと県で実施している事業グループのキャンペーンによる長部田海床路等のPRや天草半島と連携し情報発信を行う。また、県が作成中の熊本県周遊アプリに、市の観光名所をより多く掲載してもらえるよう取り組む、</p>

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1
2-4	観光消費額	億円	目標	—	35	35	37	37	40
			実績	36	34	32	33	—	達成が見込めない

成果・課題	今後の方針・改善策
<p>【H27】観光客数（指標2-3）は増加したものの、単価が下がったため消費額は前年度から減少した。</p> <p>【H28】熊本地震の影響で減少した。</p> <p>【H29】観光客数の増加に合わせ、昨年度より増加。</p> <p>【H30】県の統計調査が無くなったため不明。</p>	<p>観光物産協会等と連携し宇城市・上天草市・天草市とスタンプラリー等を行い、観光施設やマリーナ等でお金を落としてもらえるよう、継続して広域的な連携を行う。</p>

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1
2-5	温泉利用プログラム参加料収入 ※再掲（資料1）	千円	目標	—	—	—	2,625	8,250	11,700
			実績	H29から実施予定			0	19	達成が見込めない

成果・課題	今後の方針・改善策
<p>【H29】熊本地震の影響により、現在工事業者選定中。H30年度中に工事完了・事業実施予定。</p> <p>【H30】3月から開始した。いきいき体操が1人300円の3人、ヨーガが1人1,300円の14人の利用があった。</p>	<p>毎月第1・3木曜のいきいき体操に合わせて実施。温泉入浴指導員が、身体の状況にあった入浴プログラム（例：冷え性解消、風邪予防等）を提供。また、毎月第4日曜には地域おこし協力隊（ヨーガインストラクター）によるヨーガを実施している。利用者が増加するよう周知に努める。</p>

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1
2-6	健康ランチ販売収入 ※再掲（資料1）	千円	目標	—	—	—	1,313	6,300	8,400
			実績	H29から実施予定			0	79	達成が見込めない

成果・課題	今後の方針・改善策
<p>【H29】熊本地震の影響により、現在工事業者選定中。H30年度中に工事完了・事業実施予定。</p> <p>【H30】3月から開始。1食1,000円で提供しており、79人の利用があった。</p>	<p>毎週日曜に1日20食限定で提供。玄米粥とテンペの唐揚げセットの体に優しいボリュームのある発酵食品満載の健康ランチを、熊本出身の料理家・食生活アドバイザーにより開発。今後は情報誌に掲載してもらう等周知に努める。</p>

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1
2-7	健康加工食品販売収入 ※再掲（資料1）	千円	目標	—	—	—	313	1,500	2,250
			実績	H29から実施予定			0	0	達成が見込めない

成果・課題	今後の方針・改善策
<p>【H29】熊本地震の影響により、現在工事業者選定中。H30年度中に工事完了・事業実施予定。</p> <p>【H30】健康ランチ販売（指標2-6）提供に合わせ実施する予定だったが、消費期限等の理由から販売に至らなかった。</p>	<p>健康ランチに使用する食品を販売する予定だったが、保存方法や衛生管理、消費期限の問題等があり、協議を行ったがH30中に販売することができなかった。今年度中の販売に向け、販売方法の見直しやランチ内容の見直しを行う。ランチに使用している野菜の販売は行っている。</p>

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1
2-8	市ホームページへのアクセス件数 (H28以降は震災分除外)	件	目標	—	850,000	900,000	950,000	1,050,000	1,150,000
			実績	824,755	873,055	1,228,122	1,424,541	1,422,613	達成が見込める

成果・課題	今後の方針・改善策
<p>【～H28】 H26. 8月に市ホームページをリニューアルし、スマホからも閲覧しやすい環境の整備を進めた。</p> <p>【H29】 熊本地震の情報収集等で、アクセス件数が伸びている。</p> <p>【H30】 H29から地方創生に関するページのプレビュー件数を全市で共有し、見やすい記事の作成に努めている。</p>	<p>ホームページだけでなく、FB（フェイスブック）や広報誌による情報発信を一体的に運用し、効果的に市の情報を発信できるよう努めたい。</p>

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 ~R1累計
2-9	定住PR動画再生件数	件	目標	—	—	4年間（H28～R1）で5,000件			5,000
			実績	H28公開		2,949	1888(4,837)	872(5,709)	既に達成

成果・課題	今後の方針・改善策
<p>【H28】 宇土市への注目が高まっていることも影響した。</p> <p>【H29】 H28公開時に積極的に周知を行ったため、比較すると再生件数は減少したが、R1の目標には達する見込み。</p> <p>【H30】 H29同様。</p>	<p>引き続き、動画視聴者を呼び込むような仕組みが必要。</p> <p>また、最終的に定住に繋がるよう、地域おこし協力隊の活用や移住相談会でのPRも重要となる。</p>

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 ~R1累計
2-10	移住に関する相談問い合わせ件数	件	目標	—	5年間（H27～R1）で50件				50
			実績	H27開始	9	5	1	7	達成が見込めない

成果・課題	今後の方針・改善策
<p>【H27】 県主催の移住相談会に参加し、都市部での移住PRを行った。</p> <p>【H28】 県主催の移住相談会に参加したが、熊本地震の影響で前年度から減少した。</p> <p>【H29】 担当課へ移住について相談があった件数。</p> <p>【H30】 担当課及び地域おこし協力隊、移住相談会で相談があった件数。</p>	<p>県主催の移住相談会等を活用し、都市部の移住希望者にPRを行った。また、今年7月に地域おこし協力隊を2人採用予定のため、空き家バンクの掘り起しを含め連携を進めていく。</p>

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1時点
2-11	宇土市FB公式ページの「いいね！」数	件	目標	—	710	920	1,185	1,540	2,000
			実績	696	794	1,835	2,049	2,037	既に達成

成果・課題	今後の方針・改善策
<p>【H28】 宇土市への注目が高まっていることも影響し、宇土市に「いいね！」しフォローする人が大きく増えている。</p> <p>【H29】 H28から1日1投稿しており、「いいね！」数の像がに繋がっている。</p> <p>【H30】 H29同様。また、広報やHPに掲載する内容はFBでも発信するよう庁内に呼びかけを行っている。</p>	<p>市に興味を持っている人（フォロワー）に直接情報を届けることができる点、情報拡散のスピードが速い点など、ホームページとは違うSNSの特性を活かした情報発信を行っていきたい。</p>

R1達成 9項目	R1未達成 5項目
-------------	--------------

数値目標

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1時点
③	合計特殊出生率(市独自算定)	—	目標	—	1.53	1.57	1.61	1.65	1.70
			実績	1.43	1.54	1.49	1.47	1.74	既に達成

成果・課題	今後の方針・改善策
<p>【~H28】1.5付近を推移しており、R1時点の目標達成は難しいペースで推移している。</p> <p>【H29】年々低下しており、R1時点の目標達成は難しいペースで推移している。</p> <p>【H30】全体の女性数は減少したが、出生者数が増加した。</p>	<p>H30年度の数値を維持できるよう、子育て~教育施策を推進し、子どもを産み育てやすいまちを目指したい。また、施策に関する周知を市HPで行っているが、プレビュー数も多いため、引き続き情報提供を行っていききたい。</p>

KPI

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 ~R1累計
3-1	カップリング数	組	目標	—	5年間(H27~R1)で20組				20
			実績	2	2	1(3)	6(9)	7(16)	達成が見込める

成果・課題	今後の方針・改善策
<p>【H27】市主催の婚活パーティー(2回実施)の数。</p> <p>【H28】宇城広域連合主催の事業による数。(成婚)</p> <p>【H29】宇城広域連合主催の事業による数。</p> <p>【H30】NPO法人及び宇城広域連合主催の事業による数。</p>	<p>市内で活動するNPO法人等の支援・育成等、行政主導でない婚活支援の後押しとして、H30は里もんプロジェクト(県補助)を利用された。今後もNPO法人や宇城広域連合と連携して取組を進めていきたい。また、婚活に関するセミナーもNPO法人と連携し、引き続き開催したい。</p>

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1
3-2	不妊治療後に妊娠届の提出があった人数(治療による妊娠かは不明)	人	目標	—	7	7	7	7	7
			実績	6	7	7	9	6	達成が見込める

成果・課題	今後の方針・改善策
<p>【H27】昨年度から増加し、目標を達成した。</p> <p>【H28】妊娠届の届出人数は目標を達成した。</p> <p>【H29】申請数(指標3-3)の増加に加え、不妊治療の成果が出たとと思われる人数が増加した。</p> <p>【H30】申請数は増加したものの、成果が出たとと思われる人数が増加した。</p>	<p>不妊治療による経済的負担軽減のために有効な制度であるため、引き続き県と連携しながら制度を続けていく。</p>

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1
3-3	不妊治療助成の申請数	件	目標	—	30	30	30	30	30
			実績	29	17	9	14	23	達成が見込めない

成果・課題	今後の方針・改善策
<p>【H27】年齢制限が設けられたことも影響し減少した。</p> <p>【H28】男性への助成も開始した。</p> <p>【H29】H28は熊本地震の影響もあり出生数自体少なかったが、落ち着いてきたため増加したものと思われる。</p> <p>【H30】出生率増加(数値目標②)のように、出産を希望する女性が増加しているためと思われる。</p>	<p>制度については一人最長5年間しか活用できず、年齢制限もついたことから、申請数については大きく増加しない見込みである。制度を必要としている人が制度を活用できるように、情報発信に努めていきたい。</p>

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1
3-4	保育所待機児童数	人	目標	—	0	0	0	0	0
			実績	27	15	2	0	0	達成が見込める

成果・課題	今後の方針・改善策
<p>【H27】定員増等により減少した。</p> <p>【H28】小規模保育所の認可等を行っている。</p> <p>【H29】定員超過での受入れによる弾力的運用や施設整備により、20人定員増加を行った。</p> <p>【H30】2か所の保育園で合計定員20人増を行った。</p>	<p>4月1日時点では、待機児童を0人とすることができたが、依然として年度途中の待機児童発生が見込まれる。また、定員に満たない保育所を希望しない「希望待機」は5名いるため、今後も弾力運用による入所決定や定員の設定について検討が必要である。</p>

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1
3-5	放課後児童クラブ待機児童数	人	目標	—	0	0	0	0	0
			実績	35	0	11	10	4	達成が見込める

成果・課題	今後の方針・改善策
<p>【H27】国の交付金を活用し整備を行った。</p> <p>【H28】H27から6年生までの利用が可能になり、部活動の社会体育への移行で4～6年生の利用が増えた。新設したが、4年生以上に待機が生じている。</p> <p>【H29】4～6年生の利用が増えた。</p> <p>【H30】4～6年生の利用が多く、花園小校区で希望待機は発生しているが、10人の定員増を行ったため待機児童数は減少した。</p>	<p>国の方針により学校施設を活用することとなっているため、待機児童数ゼロを目指し、小学校担当課と協議を行っていく。</p>

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1
3-6	幼稚園児一時預かり保育利用園児数	人/日	目標	—	30	30	30	30	30
			実績	H27開始	14	28	23	12	達成が見込めない

成果・課題	今後の方針・改善策
<p>【H27】実施初年度で利用者数は想定ほど多くなかった。</p> <p>【H28】園児の減少もあり減少したが、一人当たりの利用日数が増え、一日当たりの利用園児数が増加した。</p> <p>【H29】園児の減少により、利用園児数も減少している。</p> <p>【H30】H29同様</p>	<p>幼稚園において、通常の就園時間から延長し、午後4時まで幼児の一時預かりを実施している（利用料100円）。保護者の育児負担軽減に繋がるため、更なる時間の延長と早朝からの預かりを検討中。</p>

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1時点
3-7	子育てに不安や負担を感じる保護者の割合	%	目標	—	—	58	R1時点で50%		50
			実績	—	—	66	70	68	達成が見込めない

成果・課題	今後の方針・改善策
<p>【H28】副教材費助成、多子世帯の給食費無償化等経済的負担軽減策、特性をもつ子どもやその親に対する支援を行い、子育ての負担軽減を図った。</p> <p>【H29】アンケートの結果、H28と比較し「やや不安」と回答した世帯が多かった。</p> <p>【H30】昨年度より微減している。</p>	<p>子どもが3人以上いる世帯に対し3人目以上給食費無償化を行っており、その世帯を対象にアンケートを行っている。子育て・教育の各分野について、保護者の不安・ニーズ等にあった事業を実施しているが、来年度はアンケート項目の見直し等を行い、何に対する不安なのかを分析し、それに見合った取組を行う必要がある。</p>

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】R1時点
3-8	サポート事業によりワークライフバランス改善に繋がったと答える保護者の割合	%	目標	—	—	75	R1時点で90%		90
			実績	—	—	76	75	83	達成が見込める

成果・課題				今後の方針・改善策					
<p>【H28】市ホームページに掲載し、放課後児童クラブの整備、特性を持つ子どもの親への支援等を行い、ワークライフバランス改善に向けた取り組みを行った。</p> <p>【H29】「なんとも言えない」と回答している人が多く、自由記載欄には制度について「感謝している」「助かっている」という回答も多く見られた。</p> <p>【H30】「ワークライフバランス」の意味が伝わりやすいよう、設問の見直しを行った。自由記載欄には「助かった」という回答が見られた。</p>				<p>情報発信等については、今後も引き続き実施していきたい。単独の事業だけではなく、保育園から小学校までの橋渡し事業を行っているため、子育て・教育・就労支援と他課との連携を図っていく。</p>					

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】R1時点
3-9	保護者に向けた子育て・教育関連ページへのアクセス件数	件	目標	—	—	2,500	R1時点で10,000件		10,000
			実績	—	—	229	1,403	2,001	達成が見込めない

成果・課題				今後の方針・改善策					
<p>【H28】H29.2月に、ファミリーサポートセンターや保育制度など保護者支援に繋がる内容をまとめたページを市HP上に作成した。開設時期が遅かったことが影響した。</p> <p>【H29】市HP上に掲載中。</p> <p>【H30】アクセスしやすいよう掲載場所を増加した。</p>				<p>関連ページへのアクセス件数の推移を見ながら、内容の充実を図る。</p>					

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】R1
3-10	放課後子ども教室参加児童のべ人数	人	目標	—	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500
			実績	1,113	1,041	872	529	875	達成が見込めない

成果・課題				今後の方針・改善策					
<p>【H27】大雨の影響により開催回数が減った。</p> <p>【H28】熊本地震の影響により開催回数が減った。</p> <p>【H29】生徒数の減少に加え、社会体育の移行により放課後の過ごし方選択肢が増え、スポーツクラブでの活動等に流れている。</p> <p>【H30】リピーターの増加やスポーツクラブから流れてきたため登録者数が増加した。</p>				<p>教職員0Bによる学習支援や地域の方との文化・活動体験など、より魅力的なものとなるよう活動内容の充実を図りながら、放課後子供教室ならではの魅力をPRしていきたい。</p> <p>また、今後も学童クラブとの合同活動（七夕等のイベント）等により興味を持ってもらえるよう連携を深めていきたい。</p>					

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】R1
3-11	小規模特認校制度利用生徒・児童数	人	目標	—	5	5	5	5	5
			実績	H27開始	3	4	4	7	既に達成

成果・課題				今後の方針・改善策					
<p>網田小・網田中学校での教育を受けることを希望する大規模校（宇土小・花園小・鶴城中）の児童・生徒について、一定の要件を満たす場合に入学を認める制度を制定し運用している。広報等で、利用者の声も掲載しながら、制度の周知を行った。</p>				<p>網田小・網田中は、県下にさきがけ「小中一貫教育」を実践し高い評価を得ており、自然豊かな環境のもと少人数による学習を特色としている。本市独自の取組として引き続き実施し、受け入れ実施校の増加を行う予定。</p>					

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	(参考) H29.12	H30	【目標】 R1
3-12	0歳～中学3年生の転入者数 ※再掲（資料1）	人	目標	—	—	—	—	180	190
			実績	—	—	—	127	208	既に達成

成果・課題				今後の方針・改善策					
国際化・情報化社会に対応できる能力を身に付けさせる教育・人材育成プログラムとして「宇土市の未来人材育成プロジェクト」を実施。ICTを活用した地域学習や幼少期からの英語教育（体験）を実施する。 【H30】 中学校3校分（110台）のタブレットの購入及び無線LANを整備した。				R1は小学校7校分（280台）のタブレットの購入と無線LANの再構築を実施する予定。また、幼稚園及び保育園での英語教育（体験）も引き続き行う。 そして、これらの取組の内容・成果を子育て世代にPRするため、情報発信を行っていく。					

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1
3-12	副教材費助成者数	人	目標	—	657	657	658	659	660
			実績	657	657	720	720	664	既に達成

成果・課題				今後の方針・改善策					
【H27】 副教材購入費の助成額を、在校生2,000円、新入生3,500円に増額した。 【H28】 継続し制度の運用を行った。 【H29】 副教材購入費の助成を小中学校の1年生に行っている。 【H30】 H29同様。				本事業の対象者に対して直接給付を行う仕組みでないため、対象者本人が制度による助成を受けていると感じづらい。 経済的負担の軽減には繋がっているため、今後も継続して実施していく。					

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1
3-13	多子世帯給食費助成により経済的負担が減ったと感じる保護者の割合	%	目標	—	—	85	85	90	90
			実績	H27開始	—	86	86	89	達成が見込める

成果・課題				今後の方針・改善策					
【H27】 経済対策の交付金を活用し実施 【H28】 就学支援・援助を目的とした宇土市独自の事業として実施 【H29】 第3子以降の給食費無償化の対象世帯に対するアンケート結果。 【H30】 H29同様。				意見記入欄でも「本当にありがたい制度」「これからも継続してほしい」など本事業を高く評価する意見が44件程寄せられた。（回答総数195件）今後も継続して実施する。					

R1達成 6項目	R1未達成 2項目	R1分らない 2項目
-------------	--------------	---------------

数値目標

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1
④	新築家屋の建築棟数	棟	目標	—	134	134	134	134	134
			実績	134	110	122	184	234	既に達成

成果・課題	今後の方針・改善策
【～H28】過去最高だったH26年の実績には届かないが、年間100件を超える住宅の新築が行われている。 【H29】熊本地震の影響による建築増が大きい。 【H30】熊本地震の影響と思われる市内の建築数が31棟増加しているが、市外からの転入者による建築数も19棟増加している。	宇土市への転入理由として「地元」「親や友人の家に近い」「勤務地に近い」が多く、Uターンやベッタウンとして居住地に選択された。新築住宅に対する固定資産税の減免制度や、宇土市が推進している定住移住応援事業等を実施していくことで、住んでみたい、住み続けたい、戻ってきたいと思われるまちを目指す。

KPI

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1時点
4-1	連携協約事業数	事業	目標	—	—	R1時点で30連携事業			30
			実績	H28開始		31	33	33	既に達成

成果・課題	今後の方針・改善策
【H28】熊本連携中枢都市圏の取組をH28年度から開始したが、熊本地震により休止した内容があった。また、首長が上京し各省庁への要望活動を行った。 【H29】通常業務に加え、熊本地震に関する連携項目が増加した。 【H30】H29と同様。	R1は新規事業が9つ追加される予定。市単独で行うよりも、近隣市町村と連携することで効率的に行える事業があるため、積極的に連携を行っていく。

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 ～R1累計
4-2	新規連携取組数	連携	目標	—	5年間(H27～R1)で5連携				5
			実績	H27～	2	1(3)	2(5)	4(9)	既に達成

成果・課題	今後の方針・改善策
【H27】「税」の出前授業〔九州財務局〕、宇城地域共同での学生向けセミナー〔熊本県、宇城市、美里町、県立大〕 【H28】学生GPでのRESAS(地域経済分析システム)共同研究〔県立大〕 【H29】・大阪府泉佐野市と特産品相互取扱協定を締結 ・崇城大学地域計画設計との連携 【H30】・郵便局とみまもり協定(ふるさと納税) ・崇城大学建築学科と行長しゃんのおうち作成 ・博多大丸とアンバサダー協定 ・宇土市商工会、協会けんぽと健康づくり推進包括協定	崇城大学とは包括連携協定を締結しているため、毎年連携して取組をじっししており、H29年に実施した地域計画設計はH30、R1と実施している。今後も、これまでの連携を深める取組に加え、積極的に新たな連携を進めていく。

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 ～R1累計
4-3	住宅リフォーム助成件数	件	目標	—	5年間(H27～R1)で150件				150
			実績	90	47	震災のため休止	42(89)	達成が見込めない	

成果・課題	今後の方針・改善策
【H28～H29】事業休止 【H30】事業を再開	熊本地震の被害による修繕や建て直しにより、本事業の需要が以前よりも少ないが、必要な人が制度を活用できるよう引き続き周知を行っていく。

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1
4-4	交通事故死亡者数（1月～12月）	人	目標	—	0	0	0	0	0
			実績	3	4	0	1	3	分からない

成果・課題				今後の方針・改善策					
【H28】交通指導員、交通安全協会、等と連携し啓発活動に取り組んできた結果、H28年に、S53年以來の「交通死亡事故ゼロ」を達成した。 【H29】遮断機なしの踏切での事故。 【H30】国道・県道・市道上それぞれで交通死亡事故が計3件発生。				国道と県道が交差する場所での事故だったため、道路管理者と警察と共に今後の対策について協議を行う。また、側溝については、ガードレールの整備を行う予定。 今後も、通学路歩道のカラー舗装等、ハード面での整備に取り組んでいく。					

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1
4-5	交通事故発生件数（1月～12月）	件	目標	—	157	155	153	150	140
			実績	159	127	121	134	128	分からない

成果・課題				今後の方針・改善策					
【H28】熊本地震による復興関係で交通量が増加したため。 【H29】H28と同様。 【H30】熊本地震の落ち着きや、交通安全の啓発による減少した。				ソフト面としては、各地区での交通安全の啓発を行う。また、通学路歩道のカラー舗装等、ハード面での整備にも取り組んでいく。					

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 ~R1累計
4-6	市と企業で締結した進出及び増設協定数	件	目標	—	5年間（H27～R1）で5件				5
			実績	1	1	0(1)	1(2)	2(4)	達成が見込める

成果・課題				今後の方針・改善策					
【H27】1社と増設協定を締結した。 【H28】実績なし 【H29】1社と増設協定を締結した。 【H30】2社と増設協定を締結した。				今年度から企業誘致アドバイザーを雇用。 企業の進出や工場等の増設については、地域産業の活性化や、新たな雇用創出に繋がるため、企業に事業拡大等の動きがないか、情報収集に努めたい。					

No.	指標名	単位	目標実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 ~R1累計
4-7	まちづくり基金助成金（ソフト事業）件数	件	目標	—	5年間（H27～R1）で25件				25
			実績	H27開始	13	5(18)	9(27)	6(33)	既に達成

成果・課題				今後の方針・改善策					
【H27】自治公民館の備品購入に活用できるよう既存の制度を変更した。 【H28】H27から変更なし。 【H29】H28は地震の影響で減少したが、行政区や市民活動団体の活動が行えるようになったため増加した。 【H30】H29の内容と変化なし。				引き続き制度の周知等を行い、地域活動を後押ししていく。					

No.	指標名	単位	目標 実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 R1時点
4-8	地域おこし協力隊任期終了後の定住率 ※再掲（資料1）	%	目標	—	—	R1時点の定住率60%			60
			実績	地域おこし協力隊任期（H28～H30）					

成果・課題	今後の方針・改善策
活動期間H28～H30。 3人の地域おこし協力隊のうち、2人が活動終了後も民泊の検討やキッチンカー等により宇土市に在住している。	現在、地域おこし協力隊は1人（H30～R1）で、高齢者の通いの場創設に取り組んでいる。また、今年7月から2人採用し、移住定住の促進及び西部地区の魅力発信業務と、学校におけるICT支援業務を行う予定。今後も、任期終了後に宇土市に定住してもらえるよう活動や生活を支援していきたい。

No.	指標名	単位	目標 実績	(参考) H26	H27	H28	H29	H30	【目標】 ～R1累計
4-9	新規事業実施（ゼロ予算事業）	件	目標	—	5年間（H27～R1）で10件				10
			実績	H27開始	2	0	0	0	達成が見込めない

成果・課題	今後の方針・改善策
【H27】市民団体等の協力のもと、「絵本とおやつを楽しむひととき」「取材のしかた・原稿のつくりかた」の2つの事業を企画・実施した。 【H28】熊本地震の影響で実施できなかった。 【H29】実施していない。 【H30】実施していない。	制度の見直しを行い、効果のある実施方法の検討を行う。

(広域連携) ヘルスケア産業等の振興をはじめとした健康長寿プロジェクト

達成 3項目	未達成 0項目
-----------	------------

K P I

No.	指標名	単位	目標 実績	事業開始前	H29 (増加分)	H30 (増加分)	【目標】R1 (増加分)
1	特定保健用食品, 機能性表示食品 及びくまもと「健康志向型プロダ クツ」認定製品数	件	目標	5件	1	1	1
			実績	H29開始	1	2	
No.	指標名	単位	目標 実績	事業開始前	H29 (増加分)	H30 (増加分)	【目標】R1 (増加分)
2	フットパス利用者数	人	目標	3,500人	500	600	800
			実績	H29開始	1,256	649	
No.	指標名	単位	目標 実績	事業開始前	H29 (増加分)	H30 (増加分)	【目標】R1 (増加分)
3	職場ぐるみで健康づくりに取り組 む企業・団体(くまもとスマート ライフプロジェクト応援団登録 数)	団体	目標	165団体	27	27	27
			実績	H29開始	779	195	